

諸先生御選

現代俳句協会副会長 倉橋羊村選

饗焰 北登猛選

◎水平線雲の離れし晩夏かな

佐渡谷秀一

◎かき氷ふんはり空気重ねけり

増田守

大鯰明治の顔をしてをりぬ

野上貞勝

大鯰明治の顔をしてをりぬ

野上貞勝

沼の面にゆるる五色や新樹光

藤崎安紀子

したたるや岩一枚の窪むまで

小川名みさ

自転車に捕虫網立てプールかな

佐渡谷秀一

団扇絵の風呼びこめり蔵座敷

稲葉幸

日盛に影愛おしむ大樺

坂本則敏

あをぎ見る木漏陽の木々夏の夕

岩崎真三

したたるや岩一枚の窪むまで

小川名みさ

しまい湯の溜息ひとつ遠花火

荒木ツル子

しばらくは手にあふれさす岩清水

稲葉幸

あでやかに踊るタンゴや夏の蝶

藤崎安紀子

こしひかり茶漬が爺の暑気払ひ

野上貞勝

しばらくは手にあふれさす岩清水

稲葉幸

圓主宰

石河義介選

末黒野主宰

小川玉泉選

◎しばらくは手にあふれさす岩清水

稲葉幸

◎しばらくは手にあふれさす岩清水

稲葉幸

夏休み孫より杉の香板葉書

稲葉幸

冷房の利きし電車に飛び乗りぬ

岩野ヤエ子

したたるや岩一枚の窪むまで

小川名みさ

日盛に影愛おしむ大樺

坂本則敏

洗ひ髪娘は妻に変貌す

藤本友子

青田風これより先は峡深し

辻幸子

さくらんぼ声透きとおる少女かな

藤崎安紀子

軋しみつつ止まりし電車原爆忌

増田守

灼くる道子連れのデモの列長し

藤本友子

梵鐘の余韻幽かや沙羅の花

辻幸子

こしひかり茶漬が爺の暑気払ひ

野上貞勝

かき氷ふんはり空気重ねけり

増田守

炎帝や凡鐘の中からつぼう

小川名みさ

炎帝や凡鐘の中からつぼう

小川名みさ

あかぎ主宰

飯村寿美子選

頂点

鶴巻ちしろ選

◎かき氷ふんはり空気重ねけり

増田守

◎かき氷ふんはり空気重ねけり

増田守

いぢめなき日のあらばこそ夏休

増田守

大鯰明治の顔をしてをりぬ

野上貞勝

大鯰明治の顔をしてをりぬ

野上貞勝

冷房の利きし電車に飛び乗りぬ

岩野ヤエ子

したたるや岩一枚の窪むまで

小川名みさ

自転車に捕虫網立てプールかな

佐渡谷秀一

軋しみつつ止まりし電車原爆忌

増田守

軋しみつつ止まりし電車原爆忌

増田守

夕焼けを満身に浴び部活動

瀬戸 溪水

さくらんぼ声透きとおる少女かな

藤崎安紀子

八月のマンゴーの皮のきらきらす

古野 明美

灼くる道子連れのデモの列長し

藤本友子

鄙の駅守る山桐の色の濃き

柏尾のり子

しばらくは手にあふれさす岩清水

稲葉幸

古志

小寺敬子選

◎大鯰明治の顔をしてをりぬ

野上貞勝

いぢめなき日のあらばこそ夏休

増田守

風涼し風の広場を通りゆく

岩崎 真三

洗はれて万緑の山近々と

柏尾のり子

洗ひ髪娘は妻に変貌す

藤本友子

青田風これより先は峡深し

辻 幸子

こしひかり茶漬が爺の暑気払ひ

野上貞勝

かき氷ふんはり空気重ねけり

増田守